



戸塚教会だより

2025 年 11 月号 No.244 発行：カトリック戸塚教会

皆が集い安らげる教会

《2025 年度活動方針》

祈りはイエス様との対話

主任司祭 田丸 篤

私たちはふつつ祈りと聞くと何かを願うことだととらえがちです。でもイエス様が私たちに求めておられる、イエス様が望まれる祈りがあるのではないのでしょうか。イエス様が望まれる祈り、それは私たちがもっとイエス様の思い、望みに耳を傾けていくことです。今、私たちが置かれている状況、そして世界中の人々が置かれている状況に目を向けながら、イエス様が私たちに向けておられる思いに心を向けていくことです。同時に祈りは私たちから神様に向けられた叫びです。そしてその叫びは、私たちが今置かれている状況と、その中での自分の思いを神様にまっすぐに伝えていくことです。自分の中でうまくいっていることもうまくいっていないことも、喜びも悲しみも、すべてを神様に伝えていく。自分の心を大きく開いて神様と対話していく。そのような私たちの態度を神様はずっと待ち望んでくださっています。

私は自分の机の上にイエス様の絵を二つ置いています。それはいつもイエス様の姿に目を向けてイエス様と対話するためです。その絵の一つはイエス様が笑顔でこちらを向いてくださっている絵です。そしてもう一つはイエス様が十字架上で御自分を捧げてくださいしている絵です。自分の心の状態に合わせて、笑っておられるイエス様と対話するときもあれば、十字架の上で苦しみをその身に受けてくださっているイエス様と対話することもあります。でもいつもそばにイエス様の絵を置いて、自分の方から何

でもイエス様に話すように習慣づけています。祈りをただ自分の願いを伝えることから一歩深めて、イエス様に今の自分の姿を伝えて対話していくことを大事にしています。

私がもう一つ大事にしていることは、聖堂でイエス様の前に自分を置いて過ごす時間を大切にするということです。聖堂へ行ってイエス様の前に自分がいることを意識して時間を過ごします。始めはやはり今日一日お守りください。共にいてくださいという祈りから始めます。そして少しずつ自分の心を開いて自分の思いを伝えるようにしています。そうすると何かが心の中で変わってくるのを感じます。頭の中でいろいろなことを思いめぐらさず、ただ静かに自分をイエス様の前に置いて心を向けていく。そしてイエス様に自分の思いを伝えていく。それを繰り返し毎日続けていくなら、イエス様は必ず私たちの心に大切な何かを残してくださいます。同時に聖堂でなくても、自分がイエス様を意識し大切にできる場所を見つけて、そこでイエス様に心を向けることもできます。そのような私たちの姿勢にイエス様は必ず応えてくださるでしょう。イエス様の思いと働きを感じ、感謝を捧げ、この自分に今イエス様が望んでくださっていることに心を向けて、それに応えていくことを大事にしたいです。そしてそのような毎日の歩みの中にイエス様が与えてくださる本当の喜びがあることを信じたいです。



教会学校からのお知らせ

教えることは学ぶこと

= 教会学校リーダー募集 =

O.H

私事です、時期は未定ながら来年 2026 年に移住のため教会を移籍することとなります。戸塚教会で受洗した 1999 年から教会学校に携わってきました。

現在、教会学校リーダーは 4 名体制で活動しています。私が抜けると残り 3 名となり、非常に困難な状況となってしまいます。それぞれ、親御さんの介護や仕事（休日勤務もあり）を抱えているためです。普段の日曜日の活動の他に第 5 地区教会学校リーダー会の活動があります。藤沢、大船、中和田、片瀬、鍛冶ヶ谷、原宿、戸塚に第 4 地区の雪の下を加えた会で、運動会や遠足、サマーキャンプ、お楽しみ会を計画、開催し教会学校同士の親睦を図っています。この活動には主に私がかかわっています。

是非、どなたか私の後任を引き受けてくださることをお願いします。その際は、一人に任せるのではなくリーダー全員が協力して普段の活動も第 5 地区

リーダー会も進めていくことができるようにしていきたいです。

子供たちに「教える」以前にまず自分が勉強しなければ、と考えている方もいらっしゃると思います。知識も確かに大事ですが、まず、子供が好きで一緒に勉強していくという気持ちがさらに大切です。完璧なリーダーなんていません。子供からの質問に答えられないこともあるのは当然です。子供たちに何をどのように教えるかを考え、子供たちの反応によりリーダーも成長していきます。子供たちから教えられることだってあるのです。正に「教えることは学ぶこと」です。

再度、お願いします。どなたか教会学校リーダーに挙手をお願いします。最初は見学からでも構いません。是非リーダーにお声がけをお願いします。

どうぞよろしくお願いいたします。



第 5 地区一粒会祈りのリレー（11 月：片瀬教会）

司祭・修道者のために祈ります。

主よ、教会のために新しい司祭・修道者の召し出しのお恵みをお与え下さい。

多くの若者たちが、司祭・修道者として、生きる喜びを感じ、主への道へと歩みだすことができますよう、又、私たちの共同体が心をつなげて、共に祈り、支えることができますように、お導き下さい。

★★ 信徒の声 ★★

第 57 回 横浜教区一粒会大会に参加して

戸塚教会(第五地区)一粒会委員 S.W

10月13日(月祝)、強羅の函嶺白百合学園にて、第57回横浜教区一粒会大会が開催されました。戸塚教会からは、田丸神父のほか信徒6名が参加しました。

800名収容の講堂がほぼ満員になるほどの盛況で、子供達も40名ほど参加していました。

午前中は、大人向けには大阪高松大司教区酒井俊弘補佐司教の講話があり、子供向けには別の場所での特別プログラムが用意されていました。

酒井補佐司教からは、主の受難と贖いを想起する磔刑の「十字架」、父と子の聖霊のみ名によって受洗したことを思い出す「聖水」の意義についてのほか、「主の祈り」の中の7つの意向や「アヴェマリアの祈り」を祈る際のマリア様からの視線についてなど

詳しく教えてくださいました。また、祈るだけでなく自らどう動きどう変わるのか、今日から自分にできることを行う、自分の召し出しをしっかりと生きることが大切であるとのお話がありました。

午後は、大会ミサ(主司式梅村司教)や司教からの出席司祭全員の紹介などがあり閉会しました。

今年、横浜教区では3名の新司祭が誕生し、また、現在5名の神学院生が学んでいます。主のみ旨のもと一粒会の活動の実りに感謝したいと思います。

司祭の召命と成聖、神学生の養成のために、戸塚教会の信徒の皆さまのお祈りと援助を、引き続きよろしくお願い申し上げます。



左：大会ミサにて説教を行う枇杷晃平新司祭(雪ノ下・由比ガ浜 助任)

中央右：梅村昌弘司教 中央左：大阪高松大司教区 酒井俊弘補佐司教



「聴く会」めぐみ在宅クリニック小澤竹俊先生の講演会を聴いて

F.N

9月21日（日）に中和田教会で戸塚教会との共催で「聴く会」めぐみ在宅クリニック小澤竹俊先生の講演会が行われました。

テーマは、【善き最期を迎えるために】—介護をする側、される側の心のケアについて—でした。

小澤竹俊先生は一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会「めぐみ在宅クリニック」の院長でられます。

学校を中心に「いのちの授業」を講演会をされたり、一般向けの講演も数多く行い、「ホスピスマインドの伝道師」として精力的な活動を続けていらっしゃいます。

当日は、来場者が多くお御堂に溢れる人がいらっしゃり、施設関係者も多かったです。近隣の方も多く、地元根付いた中和田教会だと改めて思いました。

この講演会を伺うのに、私は少し躊躇致しました。なぜなら9年前に私は、父を亡くしており、その悲しみが思い出されてしまうのではないかと、心配でした。

先生はおっしゃいます。善き最期とは誰にとって、いいものなのかと。苦しんでいる人は、その苦しみを分かってくれと嬉しいと。

私は、聴きながら父に対してどうであったかを思い起こしながら、考えさせられました。介護の希望と現実の狭間で、苦しんでいた当時を思い返しました。いえ、時間が経っても悲しみは今も薄れません。先生は、私の心を解きほぐす様にお話しを続けて下さいました。

相手の話しを自分が聴く事で自分が相手にとって理解者だという思い込みは、間違っているという事。

結局、介護をする人される人にとっての辛さ悲しみは、その人でなければ分からない。でも寄り添うことは、出来る。それが大切なのだと、先生から教えて頂いたと思います。

*ウォーデンの4つの課題も教えて頂きました。

「①喪失の事実を受容する」

「②悲嘆の苦痛を経験する」

「③故人のいない環境に適応する」

「④故人を情緒的に再配置し、自分の生活を続ける」

*そしてグリーフケアの重要性。

死別や離婚など大切なものを喪失した人が経験する深い悲しみ（グリーフ）に寄り添い、立ち直れるように支援するケア

自分自身の支えがとても大切だと思いました。

先生は、プロテスタントのクリスチャンで聖書を引用されたりして講演されました。カトリックの私たちにもとても聴きやすい講演でした。

自分が苦しんだ分、大切な人の苦しみが薄れる。苦しみにも意味がある。心に刺さりました。この様に苦しみを捉え、日々の生活をおくって行けたらと思いました。

最後に、講演をして頂いた小澤竹俊先生に心より感謝致しますと同時に、共催して下さいご尽力頂いた中和田教会の皆様にお礼を申し上げます。



福祉部からのお知らせ

「ラウダート・シ」ゴールズ LSGs

(毎月、7項目の LSGs を1項目ずつ掲載します。)

2. 貧しい人々の叫びにこたえて

受精から死に至るまでの人間のいのちと、地球上のあらゆる形態のいのち、それらを守る使命を自覚し、エコロジカルな正義を推進するようという呼びかけです。具体的な実践としては、弱い立場にある人々、たとえば先住民、難民、移民、危険にさらされている子どもなどを最優先にした、連帯を促す事業、社会システムの分析と改善、社会福祉制度などがあります。



司教協議会「ラウダート・シ」部門 HP より引用

1) 関内支援グループ 米の寄付

8月は72Kg、9月～10月1週は78Kgの支援をいただきました。

米が不足する状況は変わりません。米の寄付は、常時、お願いします。受付室の衣装ケースに入れて下さい。(LSGs - 2,7)

2) 福島やさい販売

ともに暮らす家・地球を大切にするために、今後、レジ袋の使用をやめます。しばらくの間は、信徒の皆様から寄付の紙袋を用意しますが、エコバッグの持参にご協力ください。

次回の野菜の販売は、12月28日の予定です。(LSGs-7)

3) ステラマリス・毛糸の帽子サークル

ご家庭で保管されている編み上がった帽子は、11月8日(土)～23日(日)に教会にお持ちください。受付内に「毛糸の帽子」と書いた箱を設置します。

石巻の編み手の方々との帽子と合わせて、11月末に末吉町教会内のステラマリスに納めます。クリスマス時期に横浜港に停泊する外航船の、主にアジア出身の船員さん達に、他の品物と一緒に包装されプレゼントされます。

毎月、第4水曜日13時～15時に2階の集会室で、毛糸の帽子を編んでいます。毛糸を編んだ事のない方も気軽に参加して下さい。ステラマリスは、カトリック教会が全世界で展開する船員司牧の一環です。

今回は11月26日です。(LSGs-2,7)

教会委員会からのお知らせ

教会委員会の議事録から

※委員会議事録のうち、信徒の皆さんにお伝えしておきたいことがらを抜粋しています。議事録の詳細は事務室に備えているファイルをご参照ください。なお、項番は議事録原本のものです。

【日時】 2025 年 10 月 11 日 10 : 00～11 : 50

【場所】 戸塚教会 2 階会議室

【開催の挨拶（主任司祭）】 10 月はフリーマーケット、

11 月は亡くなられた方のためのミサ、七五三祝いミサなど、年末に向けて多くの活動がある。一つ一つの活動を通して信徒同士の良き交わり、またイエス様との親しさを感じられる時にしていきたい。

【議事】

1. 協議事項

(1) 2026 年度予算案の検討、承認。（添付資料参照）

→10/24 までに教区へ提出予定（財務）

添付資料「2025 年度収入、8/31 までの実績、2026 年度計画」「2025 年度支出、8/31 までの実績、2026 年度計画」をもとに審議し、加筆訂正を行った。主な検討内容は次の通り

- ・中高生活動費は、再開の期待を込めて 2026 年度も 50,000 円計上する。
- ・防犯カメラは検討を要するため、2026 年度予算、機器備品取得支出として 200,000 円計上
- ・消耗品支出「災害備蓄品」については買替時期を検討する必要がある。
- ・賃借料「コピー機」は、特に不具合がないため、2026 年度も再リース料として 50,000 円を計上

※修正案を 10 月 24 日までに教区へ提出。11 月の教会委員会にも再提出することとなった。

(2) 大掃除の作業内容について（添付資料）（管財）

11/15(土)、16(日)の大掃除について、各地区、教会委員の役割分担について検討。

修正版をメール配信、OneDrive にアップする。

(3) ホームページ上の「お問い合わせ」フォーム本稼働について（総務）

現在試行運用中の「お問い合わせ」フォームの本稼働にあたり、継続はするもののハンドリングに割くマンパワーを考慮し、「信徒のしおり」に掲載するなど、広める動きはとらないこととする。→了承

(4) ミサ行事日程の確認（広報）

添付資料「2025 年度ミサ行事日程表」をもとに加筆訂正を行い、さらに変更箇所は各部で訂正する。

(5) ラウダート・シの取り組みを（何を受けて何をするのか）を来年度方針に反映させることについて（福祉）
添付資料（QR コード）『ラウダート・シ』ゴールズ学びのヒント」（「ラウダート・シデスク」HP より引用）を参考に、各部会の来年度計画に「ラウダート・シゴールズ」を意識した方針を盛り込んでいただきたい。
→了承

2. 報告事項

(1) 主任司祭 特記事項なし

(2) 教会委員長

2025 年度教会方針「皆が集い安らげる教会」を実現するために、第 1 週日曜日ミサ後に皆で楽しめる卓球やゲームを実施し、第 3 週には、ミサ後に周りの方々、特にあまり話したことのない方との交流を図るおしゃべりの時間（3～5 分程度）を設けた。ミサ後のおしゃべりタイムでは、知らない方同士盛り上がり、しばらく話し込むグループができ、よい空気が聖堂に満ちていた。一方で 2 階にいらしたお子様連れの方などは、取り残された感じがして、お帰りになる様子も見受けられた。次回以降は教会委員が目配りをして、話し相手がいなさそうな方、遠慮がちにされている外国籍の方に積極的に声掛けを行うなど、多くの方が触れ合える場を作っていきたい。

(3) 財務部

① 9/27.28 に行った「世界難民移住移動者の日」献金は 108,000 円であった。横浜司教区へ振込済み。

② 10/19 は「世界宣教の日」の指定献金日なので、10/18.19 に献金を行う。多くの皆様のお祈りとご協力をお願いしたい。

③ 10/27 に第 3 回分担金の引き落としがある。金額は 1,078,500 円。

(4) 総務部

① 12 月教会委員会までに各部の「2025 年度活動報告と 2026 年度の活動計画」を取りまとめていただくにあたり、全活動部の「2024 年度活動報告と 2025 年度の活動計画」を取りまとめたエクセルファイルを 11 月の教会委員会フォルダにアップするので、データを「2025 年度活動報告と 2026 年度の活動計画」に書き換えていただきたい。全活動部を取りまとめたエクセルデータに「更新済み」をチェックできる欄を追記する。

② 毎月の教会委員会議事の OneDrive への記入締切を委員会前々日の木曜日 18 : 00 までとしたい。主任司祭、教会委員長への報告に余裕を持たせるため。→了承

(5) 管財部

① 業者による床ワックス清掃とガラス清掃を 11/12(水) 9 : 00～実施予定。費用 : 180,000 円 + 税。

朝ミサの時間にかかるため、2 階から始めてもらう。

② 聖堂の屋上防水工事の申請を教区建設委員会に提出し承認待ちである。許可後、業者に手配予定。

金額：9,650,000 円

③街灯の交換工事は 11 月下旬に行うこととする。

(6)典礼部 特記事項なし

(7)教学部

①とつか合同クリスマス会 12 月 6 日(土) 14:00～

16:00 湘南とつか YMCA ホール

場面役割についての打ち合わせ 10 月 12 日(日)

16:30～ 同所

→「東の国の博士」を担当。各教会とも担当場面の表現方法は自由。劇仕立てでなくてもよい(場面の朗読など)。アンケート筆記用のミニペンとロウソクと燭台をカトリック戸塚教会が準備。

昨年に引き続き、第 2 部において「横浜フィル・ハーモニック」のコンサートを開催。

分担金 5,000 円を当日持参。

②10 月末現在の教会図書冊数 543 冊(1 冊新入庫)

③「図説天正遣欧使節」2025.7 かまくら春秋社刊 定価 38,500 円 教会図書として購入する。(一割引き)

④待降節練成会 12 月 21 日(日)ミサ後

(8)福音宣教部 特になし

(9)広報部

教会だより 10 月号「信徒の動き」のお名前に誤記があった。11 月教会だよりにお詫びと訂正を掲載予定。

(10)福祉部

①9 月 21 日(日) 中和田教会との共催「聴く会」めぐみ在宅クリニック小澤竹敏先生講演会が行われた。

「善き最期を迎える為に」介護する側、される側の心のケアについてのご講演。たくさんの方、特に地域の方々や施設の方が多く参加なさっていて、中和田教会の地域との深い繋がりを実感した。

②「関内支援」10 月は合計 60 kg のお米の寄付があった。

信徒の皆様に感謝しつつ、今後も継続したい。

平日にしか教会に来られない信徒の方がいらっしゃるの
で、土日のみではなく平日も BOX 回収したい。→了承

(11)行事親睦部

①10 月 26 日(日)フリーマーケットについて

雨天の場合は聖堂ホールで行うため、椅子を片付けるキャスターを告解部屋から出すお手伝いを男性中心にお願いしたい。

【次回 委員会の日程】 2025 年 11 月 8 日 10 時～

教会委員会からのお願い

〈宣教地召命促進の日(献金)・財務部〉

「宣教地召命促進の日」を呼び掛ける教皇庁使徒聖ペトロ事業の目的は、全てのキリスト者が宣教地の地元の司祭と神学生、男女修道者と志願者を育てる必要性を意識し、物的援

助だけではなく、祈りと信仰生活による支援を促進していくことです。この日、私たちは特に祈りと犠牲によって、「収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に」願います。当日の献金はローマ教皇庁・福音宣教省に集められ、全世界の宣教地の司祭養成、男女修道者の養成のために用いられます。戸塚教会では 12 月 6 日、7 日で献金を行います。皆様のお祈りとご協力をよろしくお願いいたします

2025年度ミサ行事日程表

月	日	曜日	典礼歴	行事	備考
11月	1	土	死者の日（年間第31週） 戸塚教会に關係する死者のためのミサ	クリプタ合同慰霊追悼ミサ 10:30～	
	2	日		「小・中・高校生交流会」9時～ ミサ後親睦会（レクリエーション）	
	8	土	ラテラノ教会の献堂 祝（年間第32週） 9日（日） 七五三のお祝い		教会委員会 10時～12時
	9	日		教会学校 9:00～、サンパウロ出店	
	15	土	年間第33主日	大掃除	
	16	日		大掃除	
	22	土	王であるキリスト（年間第34週） 23日（日） 13時～英語ミサ		
	23	日		教会学校 9:00～、ミサ後クリスマスの飾り付け	
	29	土	待降節第1主日		ミサ後全員で掃除
	30	日			ミサ後全員で掃除
12月	6	土	待降節第2主日 ※宣教地召命促進の日（献金）	とつか合同クリスマス会 14:00～戸塚YMCA	
	7	日		「小・中・高校生交流会」9時～ ミサ後親睦会（レクリエーション）	
	13	土	待降節第3主日		教会委員会 10時～12時 ミサ後全員で掃除
	14	日		教会学校 9:00～	ミサ後全員で掃除
	20	土	待降節第4主日		
	21	日			
	24	水	主の降誕（祭）夜半ミサ 19:00～	（原宿教会 16:30～）	
	25	木	主の降誕（祭）日中ミサ 10:30～	（原宿教会 8:45～）	
	27	土	聖家族 祝 28日（日） 13時～英語ミサ		ミサ後全員で掃除
	28	日			ミサ後全員で掃除

ミサの時間



【主日ミサ】
 戸塚教会 土曜日＝16:00
 日曜日＝10:30

【平日のミサ：火曜～金曜】
 戸塚教会 火～木＝9:30
 初金・金曜日＝10:00

【英語ミサ】 第4日曜日は13:00

【戸塚教会】

244-0002 横浜市戸塚区矢部町 641
 045-881-8882(電話) 045-865-2026(ファックス)
<http://totsuka-church.wixsite.com/catholic>

【原宿教会】

245-0063 横浜市戸塚区原宿 4-35-1
 (電話) 045-851-7880

土曜日・祝日・平日のミサは行事や司祭の都合などで変更になる場合があります。

お知らせ

典 礼

11/9(日)、サンパウロの出店

四谷のサンパウロの出張出店日です。
クリスマス用品はもちろん、カレンダー、手帳なども販売。
修道院のお菓子もあります。
子どもや孫のクリスマスプレゼントを探すのもよし！
ミサの前から販売をしますので、いつもよりちょっと早く起きて、ちょっと早く家を出て、ゆっくり品物を探してみましょう。思いがけない良いものが見つかるかも・・・・・・
もちろん、ミサ後も販売いたします。
ブラザーお勧めの本もお楽しみに。

総 務

11/15(土)、11/16(日) ミサ後に大掃除をします！

待降節の前に、教会を綺麗にしましょう。
土曜日は2階を、日曜日は1階をメインに隅々まで掃除し、気持ちよく待降節を迎えましょう。
当日は、各場所のリーダーが指示をしますので、それぞれ従って掃除をしてください。
皆でやれば、早く終わります。
お掃除をした方には、飲み物と軽食を用意します。

典 礼

11/9(日)は七五三のお祝い

11/9(日)10:00のミサで、七五三のお祝いをいたします。
毎年子どもの成長をお祝いできることは本当にお恵みです。
ミサに与って、今日家庭の子どもたちの成長を皆でお祝いいたしましょう。

典 礼

11/23(日)のミサ後は クリスマスの飾り付けを行ないます

11/23(日)で典礼歴C年は終わります。
翌週からのA年待降節を迎えるためにクリスマスの飾り付けを行ないます。
ロビーのツリーは子どもたちを中心に、外の電飾で飾ります。
楽しいクリスマスを迎えるために、皆で協力して、飾りつけをしましょう。

典 礼

クリスマス夜半&日中のミサ時間

今年のクリスマスの夜半と日中のミサ時間は、それぞれ下記となります。

12/24(水)	16:30～	原宿教会
	19:00～	戸塚教会
12/25(木)	8:45～	原宿教会
	10:30～	戸塚教会

戸塚教会、原宿教会、どちらのミサに与っても構いません。ご都合の良い時間のミサを選ぶことができます。
大事なクリスマスのミサですから、できるだけ与るようにいたしましょう。